

## 初めての給食

1年生の給食が始まりました。

配膳前の教室をのぞいてみると、みんなとてもおこさんです。どのクラスも全員、ちゃんと椅子に座って待っていました。

わたし：「えらいなあ。先生がいらっしゃらなくても、ちゃんと待ってられるんだね。」

子ども：「こんなんできんかったら、小学校1年生って言われへんもん。」

女の子でした。ちなみに、ある男の子は、よく似ていましたが微妙に違っていました。

子ども：「こんなんできんかったら、先生に怒られるもん。」

う～ん。この違いはどこからきているのでしょうか？

本校は、昨年度より給食調理業務を民間委託しています。重いごはんは、社員の方が運んでくださいます。ごはんをお皿に入れてもくださいます。先日は、カレーライスでした。ごはんを入れてもらったら、先生にカレーをかけてもらいます。「これぐらいでいい？」やさしく先生が声をかけてくれます。友だちと仲良く、大好きなカレーライスをしっかり食べることができました。

## 先輩に負けないぞ！！

6年生が運動場で体育をしていました。組体操の練習でした。う～ん。正直に言いますと、始まったばかりだからでしょうか、いつもの力感や緊張感があまり感じられませんでした。なんだか子どもたちが小さく見えます。よく考えてみると、それもそうですね。例年は10月実施ですので、いつもより5ヶ月も早い実施なのです。小さく見えるのではなく、本当に小さいのです。力も集中力も単純に比べてはいけませんね。

改めてお知らせしますが、今年度の体育大会でも、恒例の組体操を行うことにしました。練習時間の確保、練習場所の確保などたくさん問題がありました。何度も話し合いを持ちましたが、大きな達成感や充実感を味わわせ、よい思い出をつくってやりたいという教師の願い、先輩たちがやってきた伝統を守りたいという子どもたちの願いから、今年も実施することにしました。

「例年通りにしなくていい。」「種目がすくなくてもいい。」「タワーも低くていい。」と私は言っています。集団行動もどこまで自主的、自律的にできるか心配です。無理をしてほしくないし、先ほどの教師や子どもたちの願いの強さに期待したい部分もあるし、複雑な心境です。

でも、「できることしかできない。」こう考えて、やっといこうと考えています。

## 新しい命を

第2号で木の切れ端を教室の花瓶に入れている子どもの事を書きました。それを読んだ職員から、子どもの気持ちを大切にするために、太い切れ端を利用して、椅子や遊具をつくったらどうかというアイデアが出されました。さっそく何本か集めてきました。どんなものにするか、どこに置くか・・・いろいろ考え中です。子どもたちの気持ちとともに新しい命を吹き込みたいと思います。